

2023年9月期 第2四半期
決算説明資料

日本エコシステム株式会社

くによく

証券コード:9249

第2四半期ハイライト



当期業績予想に対し、 売上高・営業利益ともに概ね順調に推移

- ▶ **成長戦略であるM&Aの着実な実行：2Q決算発表時点で累計3件成立**
(公営競技分野：1件、電気・空調衛生設備分野：2件)
- ▶ **公共サービス・交通インフラ事業：対前期比増及び通期計画進捗も順調に推移**

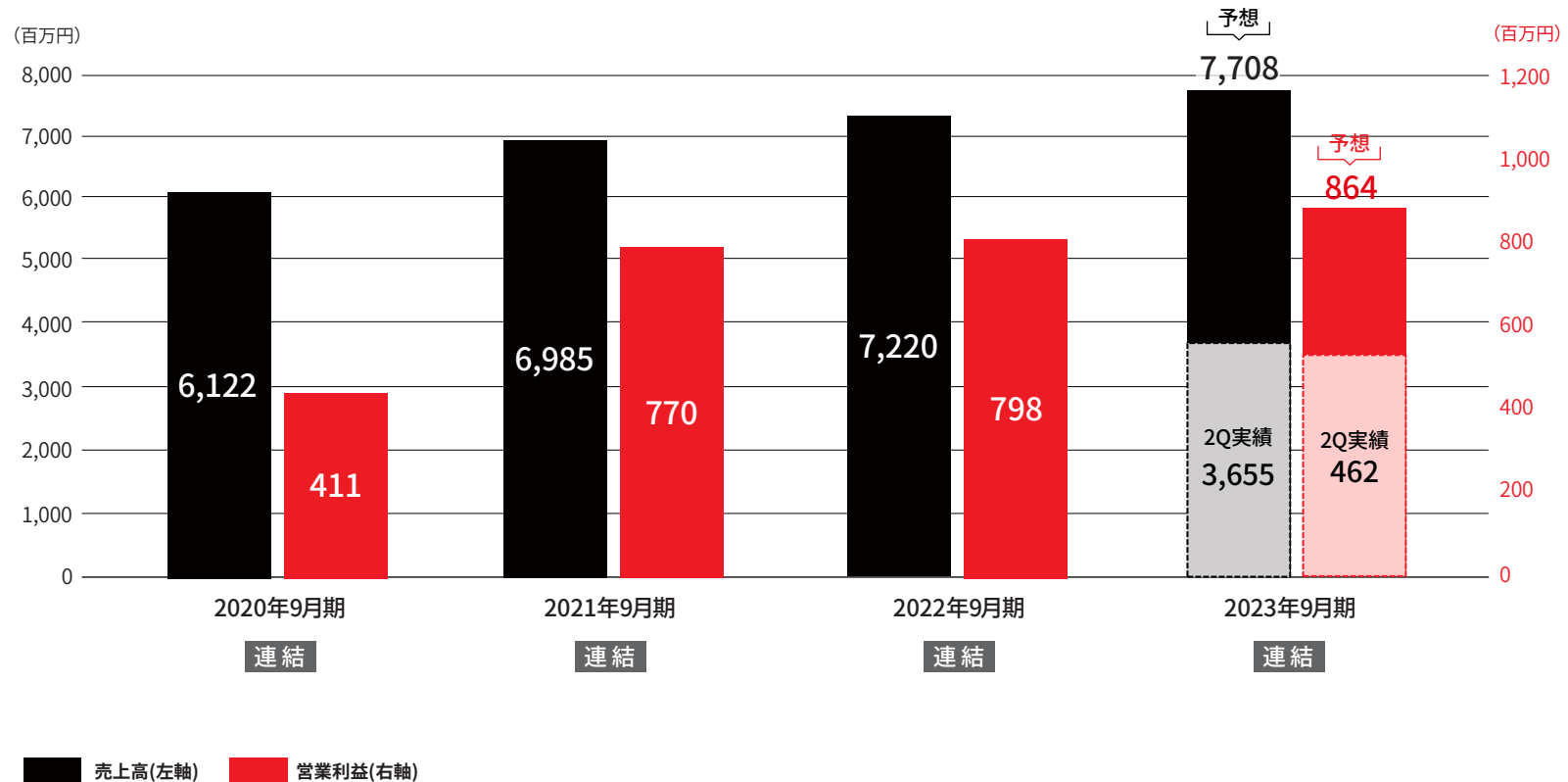
I	2023年9月期 第2四半期 決算概要	3P
II	2023年9月期(～5/12時点含む) トピックス	12P
III	サステナビリティおよびCSR	25P
IV	役員紹介	27P
V	会社概要	30P
VI	Appendix	46P

I 2023年9月期 第2四半期 決算概要

第2四半期 売上高・営業利益の推移



当期予想に対し、売上高・営業利益ともに概ね順調に推移



第2四半期 損益計算書サマリー



(単位：百万円)

■ 売上高・営業利益

M&A投資等の実行も含め、
通期計画に対し順調に推移

■ 経常利益

前期に保険解約返戻金(43百万円)
発生による対前期比減少

	2022年9月期 2Q 累計実績	2023年9月期 2Q 累計実績	対前年比	通期計画	進捗率対 計画比
売上高	3,619	3,655	101.0%	7,708	47.4%
営業利益	474	462	97.4%	864	53.5%
経常利益	514	474	92.2%	900	52.7%
親会社株主に 帰属する 当期純利益	282	624	220.8%	609	102.5%

当期純利益の 主な増減要因

- 428百万円：自社所有の賃貸用オフィスビル売却に伴う特別利益計上
- 69百万円：オー・ティー・エス技術サービス、葵電気工業のグループ化に伴う特別利益計上
- ▲ 34百万円：賃貸ビルの解体に伴う建物の取壊し費用を特別損失として計上
- ▲ 22百万円：環境事業にて主に製造設備に係る減損損失を特別損失として計上

第2四半期 公共サービス事業実績



前年同期比

電気・空調衛生設備工事、公営競技関連



売上高 : 1,770百万円 102.8%
営業利益 : 374百万円 117.4%

(単位：百万円)

	2022年9月期 2Q累計実績	2023年9月期 2Q累計実績	対前年比	通期計画	進捗率 対計画比
売上高	1,722	1,770	102.8%	3,705	47.8%
営業利益	318	374	117.4%	551	67.9%
営業利益率	18.5%	21.1%	—	14.9%	—

■ 分析

- ①M&Aによりグループ化した
オー・ティー・エス技術サービスが業績に貢献
- ②公営競技場運営の包括受託業務が堅調に推移
- ③利益率の高いネット投票の売上が堅調に推移

■ 今後の取り組み

- ①電気・空調衛生設備は、技術者の増員により事業拡大
- ②公営競技は、施設全体運営の包括案件やネット投票を
拡大させ高収益に

第2四半期 環境事業実績



前年同期比



アクアリウム・水循環システム、産業用太陽光発電設備の施工

売上高 : 408百万円 70.9%

営業利益 : 25百万円 34.7%

(単位：百万円)

	2022年9月期 2Q累計実績	2023年9月期 2Q累計実績	対前年比	通期計画	進捗率 対計画比
売上高	575	408	70.9%	994	41.0%
営業利益	74	25	34.7%	124	20.2%
営業利益率	12.9%	6.3%	—	12.5%	—

■ 分析

- ①アクアリウム受注案件が前期業績好調の反動もあり、当期は鈍化傾向
- ②産業用太陽光発電設備の工事案件が前期は上期偏重に対し、当期は平準化

■ 今後の取り組み

- ①水槽搬入の下請けから企画運営を含めた包括業務への業容拡大を図る
- ②営業人員の補強

第2四半期 交通インフラ事業実績



前年同期比

土木保全業務、施設（電気通信等）保全業務



売上高 : 1,365百万円 113.8%

営業利益 : 388百万円 117.9%

(単位：百万円)

	2022年9月期 2Q累計実績	2023年9月期 2Q累計実績	対前年比	通期計画	進捗率 対計画比
売上高	1,200	1,365	113.8%	2,605	52.4%
営業利益	329	388	117.9%	676	57.4%
営業利益率	27.5%	28.5%	—	26.0%	—

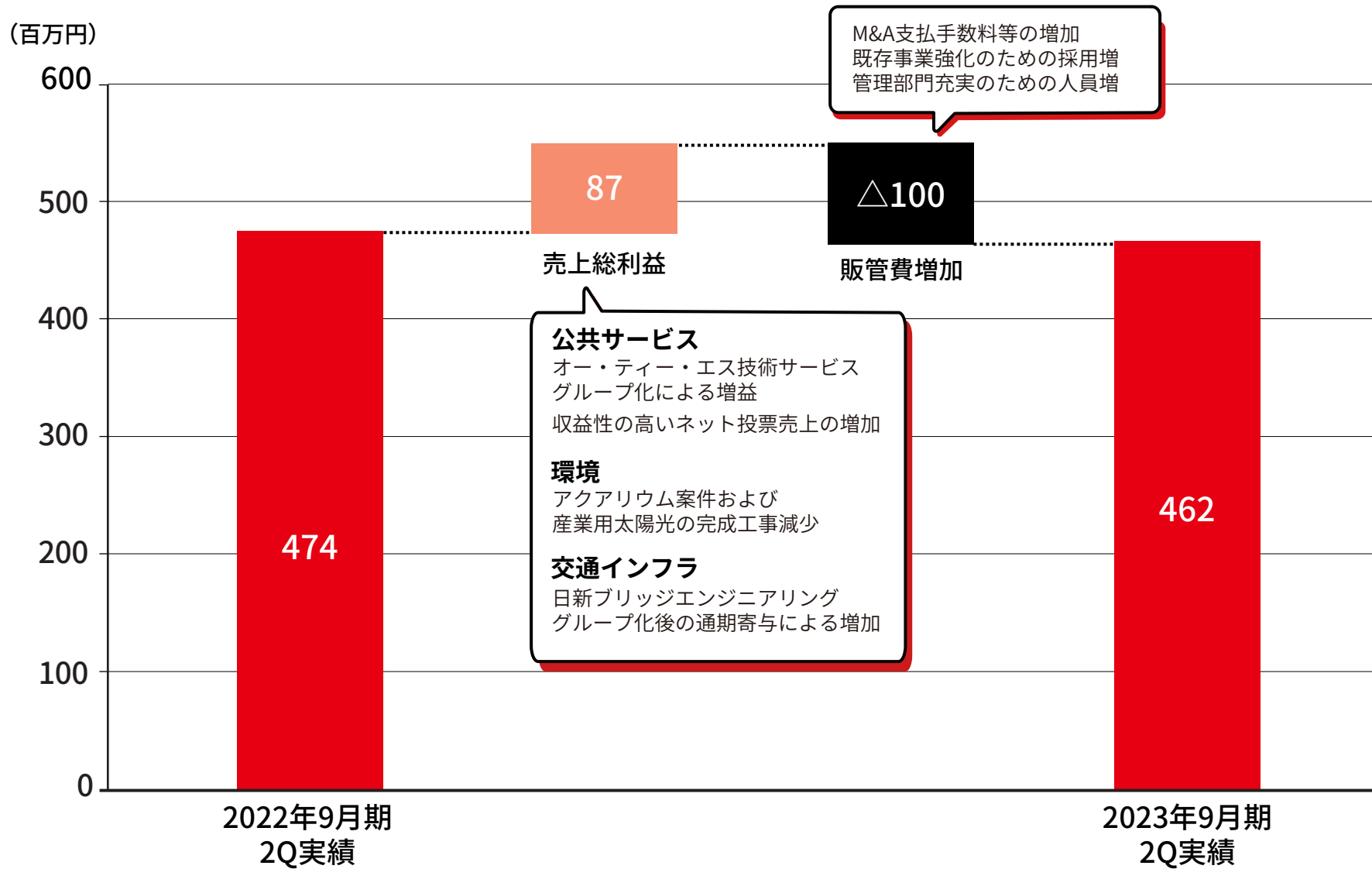
■ 分析

- ①日新ブリッジエンジニアリング、グループ化後の通期寄与
- ②エンジニアリング分野（道路照明灯・LED工事）の自治体需要が堅調に推移
- ③メンテナンス分野（高速道路の維持管理等）のNEXCO中日本グループからの案件も順調に推移

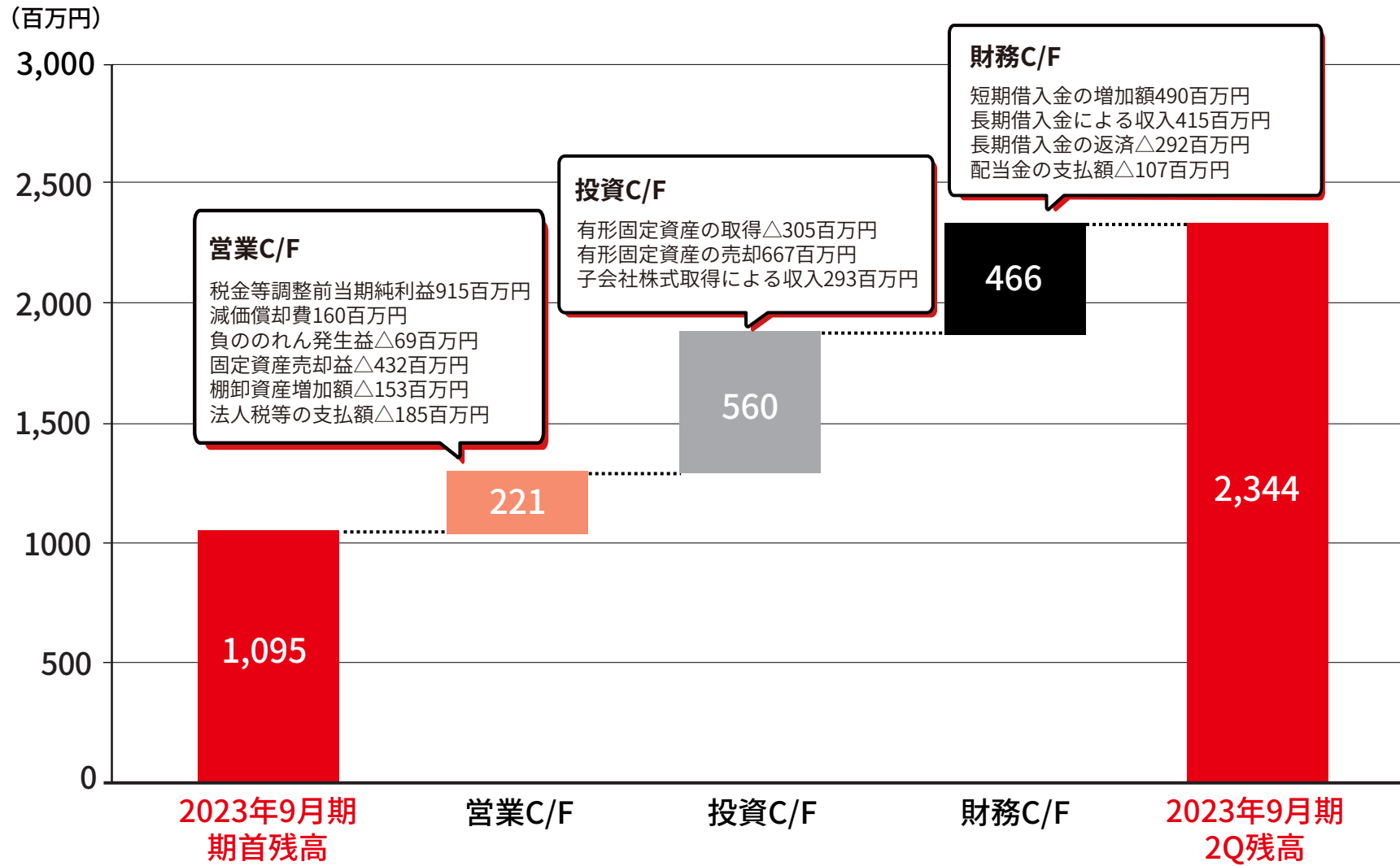
■ 今後の取り組み

- ①技術者の獲得と教育によりエンジニアリングサービスを拡大
- ②外注の割合を減らすことでメンテナンスサービスを高収益化
- ③M&Aを活用して西日本、東日本へのエリア拡大も視野

第2四半期 営業利益の増減要因分析



キャッシュ・フローの状況



株主還元



配当の状況

2023年9月期 第2四半期 **中間配当25円/株**を実施
 2023年9月期は、年間配当を51円/株へ増配の予定
 安定性・継続性のある配当を実施してまいります

2022年9月期

期末配当	40.00円/株
中間配当	10.00円/株 ※1

.....

年間配当	50.00円/株
------	----------

※1 2022年9月期 第2四半期

2023年9月期(予想)

期末配当	26.00円/株
中間配当	25.00円/株 ※2

.....

年間配当	51.00円/株
------	----------

※2 2023年9月期 第2四半期

II 2023年9月期(～2023/5/12時点含む) トピックス

公共サービス事業

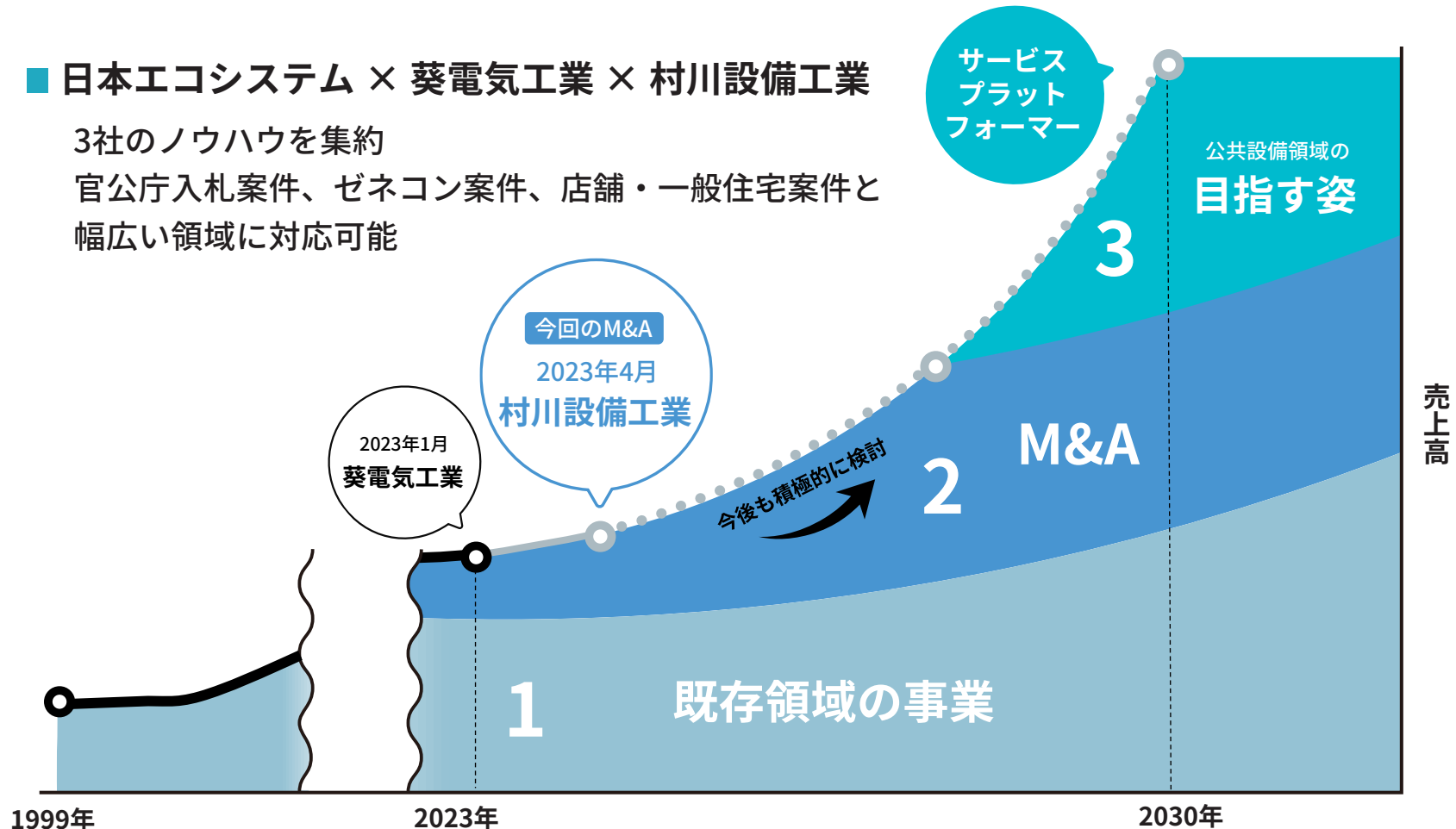


M&Aによる事業領域の拡大

村川設備工業をグループ化 (2023年4月)
 空調設備工事等のサービス提供範囲の拡大といったシナジー効果を創出

■ 日本エコシステム × 葵電気工業 × 村川設備工業

3社のノウハウを集約
 官公庁入札案件、ゼネコン案件、店舗・一般住宅案件と
 幅広い領域に対応可能

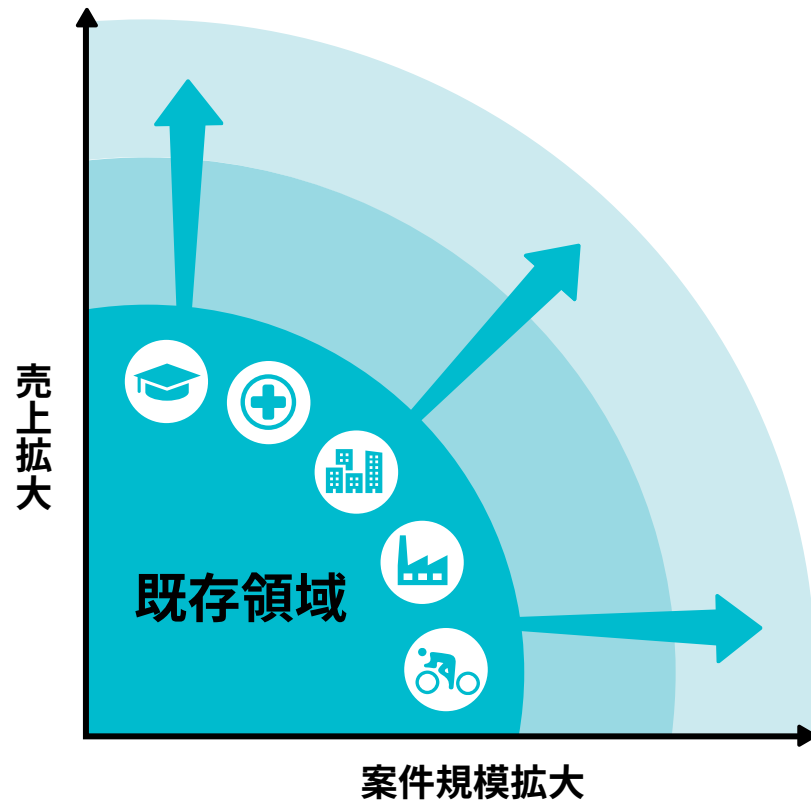


公共サービス事業



電気・空調衛生設備分野の注力拡大

葵電気工業（2023年1月グループ化）との連携による工事案件・規模の拡大
設備工事領域のプラットフォームとして今後も領域拡大・売上拡大に注力



工事実績

名古屋商科大学

語学センタートイレ改修工事



公共サービス事業



公営競技場受託場数の推移

ポジショニング戦略に基づく場数減少をM&A・グループ化による場数増加でカバー

- 2022年11月 オー・ティー・エス技術サービスをグループ化 (+3)
- 2023年 3月 経営資源の選択と集中により効率性・収益性向上を図るため撤退 (△3)

		2019年9月期	2020年9月期	2021年9月期	2022年9月期	2023年9月期 第2四半期
本場 ※実際に自転車や バイクが走る競技場	包括受託 (料率売上)	—	—	※1 1場	1場	1場
	部分受託	4場	4場	3場	3場	4場
場外発売場 ※投票券を販売 するのみの施設	包括受託 (料率売上)	2場	3場	3場	4場	5場
	部分受託	11場	11場	11場	10場	8場
競技別	競輪	10場	10場	10場	10場	12場
	地方競馬	4場	4場	4場	5場	3場
	オートレース	—	1場	1場	1場	1場
	ボートレース	3場	3場	3場	2場	2場

※1 部分受託から包括委託へ契約形態を移行

※2 上表は日本ベンダーネット、サテライト一宮、オー・ティー・エス技術サービスの受託場数を合算した数値を表記

公共サービス事業



積極的なイベント開催

集客拡大を目的に、バスツアーや競輪選手によるトークイベントなど
公営競技ファンの注目度が高いイベントを積極的に開催

客層の分布



※現役競輪選手東口選手によるトークショーや
浜松オートレース場観戦バスツアーなどを開催

新規・既存顧客へ

アプローチ



観戦バスツアー

トークショー

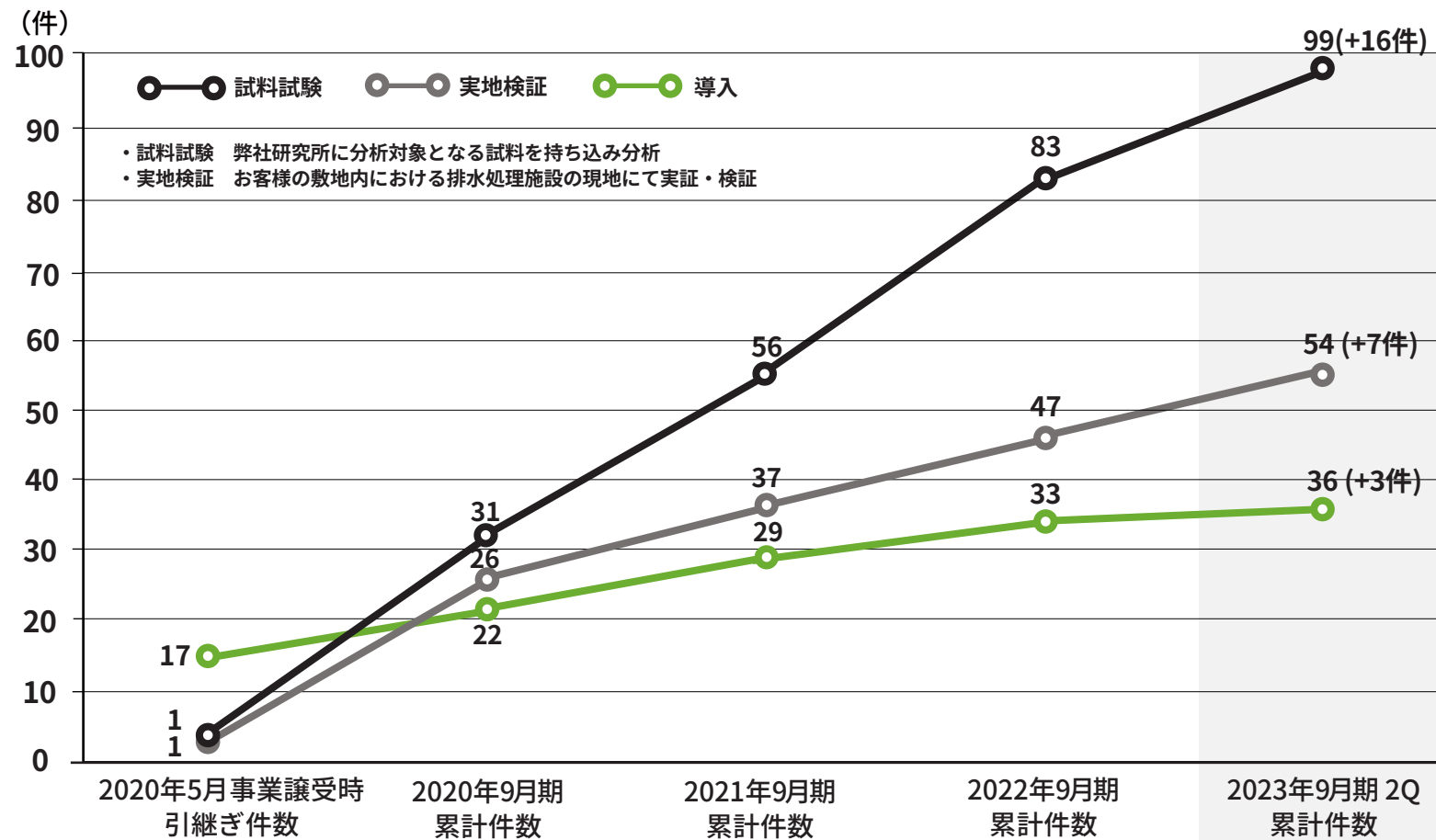


環境事業



試料試験・実地検証の件数推移

継続的な営業活動の推進により試料試験及び実地検証の件数が拡大

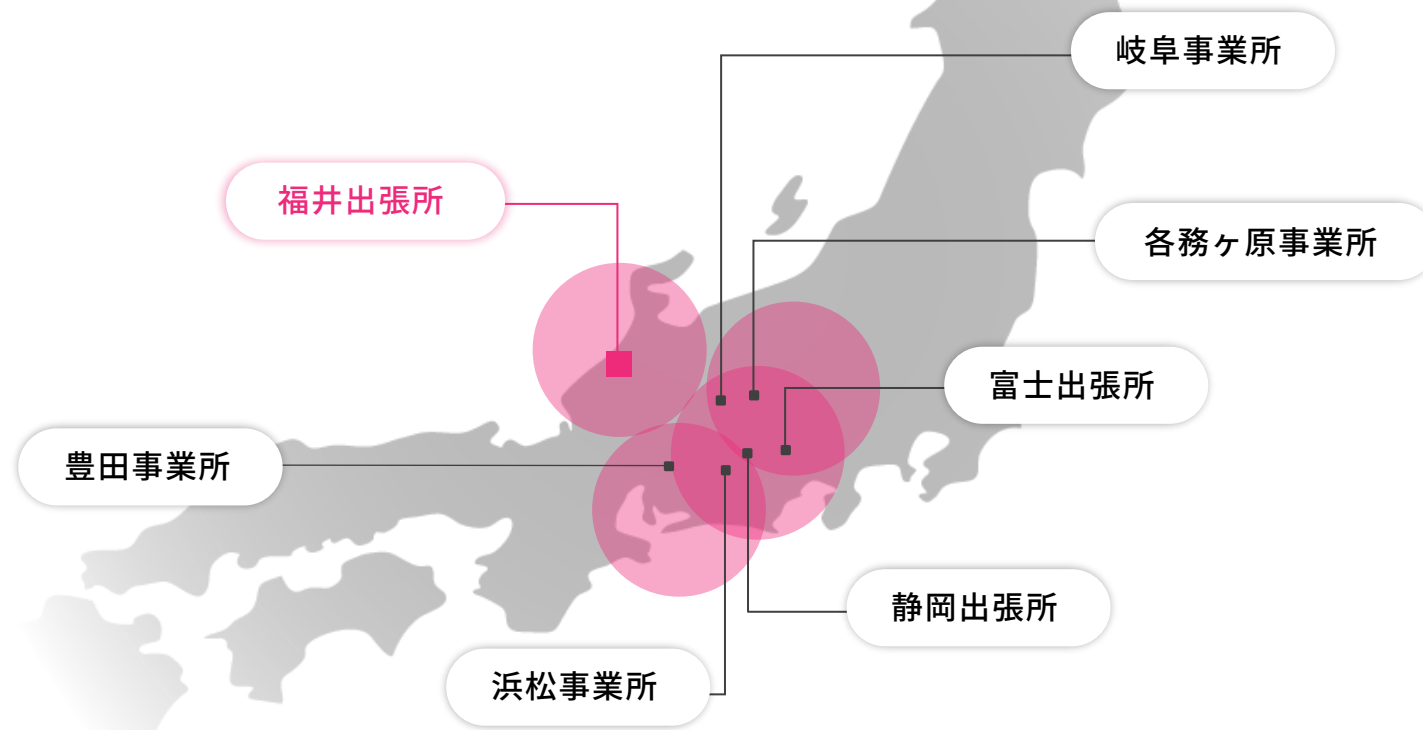


交通インフラ事業



業務エリアの拡張・拡大

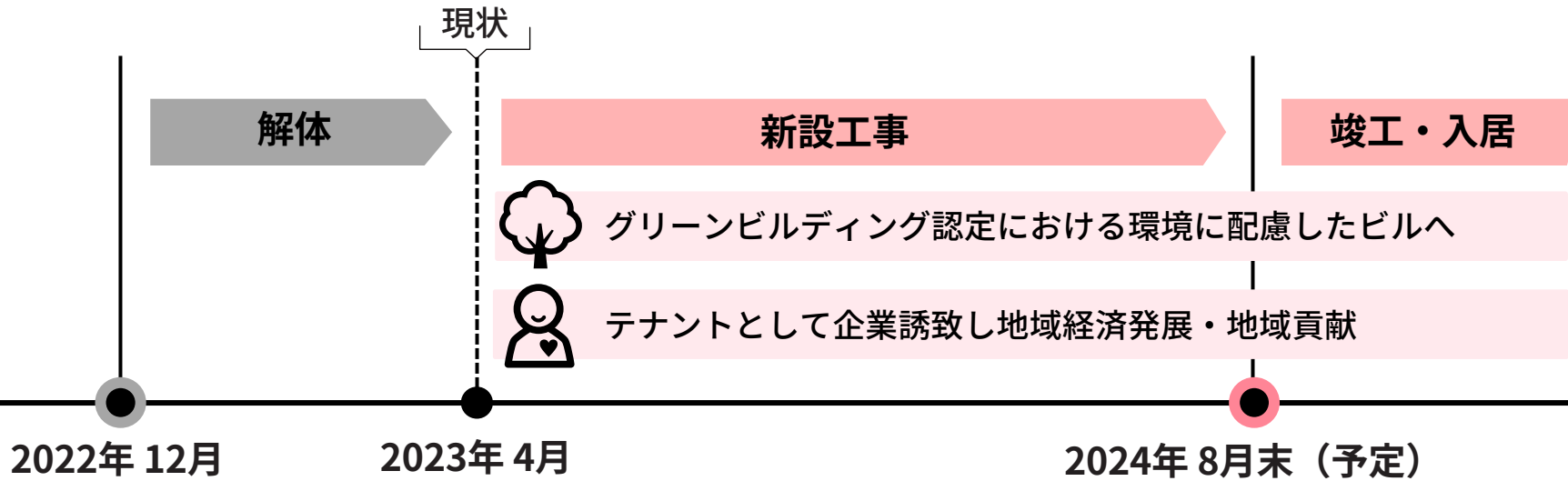
北陸地区の高速道路本線交通規制エリアを拡大
稼働エリア広域化×人員動員で迅速かつ大規模案件に対応



全社



自社所有賃貸ビル



解体完了・地鎮祭を催行

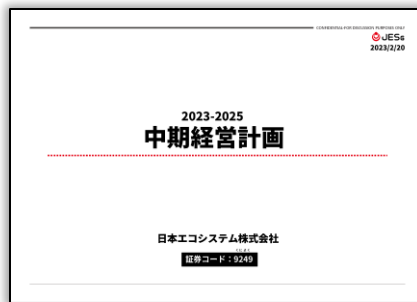
新設工事に向け、地鎮祭を執り行いました。
約1年半後の2024年8月末頃に
竣工を予定しています。

全社



中期経営計画 2023-2025（2023年2月20日 発表）

300年企業の創造に向けた会社の目指す目標の設定、
株主や投資家等との対話の充実を目的として中期経営計画を策定



中期経営計画の概要

- 1. JESGの存在意義
- 2. JESG Vision2030
- 3. 中期経営目標
- 4. 成長戦略
- 5. SDGsへの取り組み

ピックアップ情報



数値目標

- ① 連結売上高CAGR：6%～7%
2022年 72億 2025年 88億～ 2030年 138億～
- ② エンジニアの採用・育成
2025年 高難易度資格保有者の増員（約23%増）
- ③ M&A戦略投資：30億～50億円（中期経営計画期間）

全社



統合報告書2023（2023年3月18日 発表）

ステークホルダーの皆さまへ当社グループの理解をより深めていただくため、今後のビジョンや価値創造について記載した統合報告書を発表



統合報告書の概要

- 📖 どこに向かうのか・・・・・・・・・・経営の羅針盤
- 📖 どんな成長を描くか・・・・・・・・・・事業戦略
- 📖 どう維持するのか・・・・・・・・・・価値創造の基盤

ピックアップ情報

①ビジョン

社会・環境とともに発展できる「エコシステム」の実現へ

②代表取締役社長・各事業担当役員・従業員メッセージ

③財務・非財務ハイライト

全社



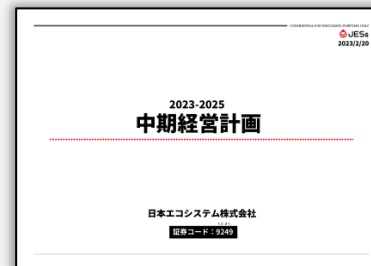
日経CNBC出演（2023年4月26日 放送）

日経CNBCが運営する「攻めのIR」に出演
個人投資家に向けた認知度のアップを目指し、今後も積極的なIR活動を推進

番組内容



ニュース番組形式のインタビューで、
決算説明資料や中期経営計画を掘り下げた内容
をご説明しています。



URL : <https://www.jp-eco.co.jp/news/20230426.html>

全社



大学生が運営する株のトラ組織委員会との連携

上場企業への取材や株式投資のシミュレーション大会を開催する
学生団体 株のトラの取材を受け、取材レポートが掲載



名古屋大学などの学生を中心に、
学生の金融リテラシー向上を目的とし、
様々な上場企業にインタビューを
掲載している団体です。

3つのテーマで取材 (2023年3月28日)

- ①公共インフラをテーマとした横断的な事業展開の内容とは？
- ②日本エコシステムの強み？！エンジニアとは？
- ③300年企業に込められた想い！



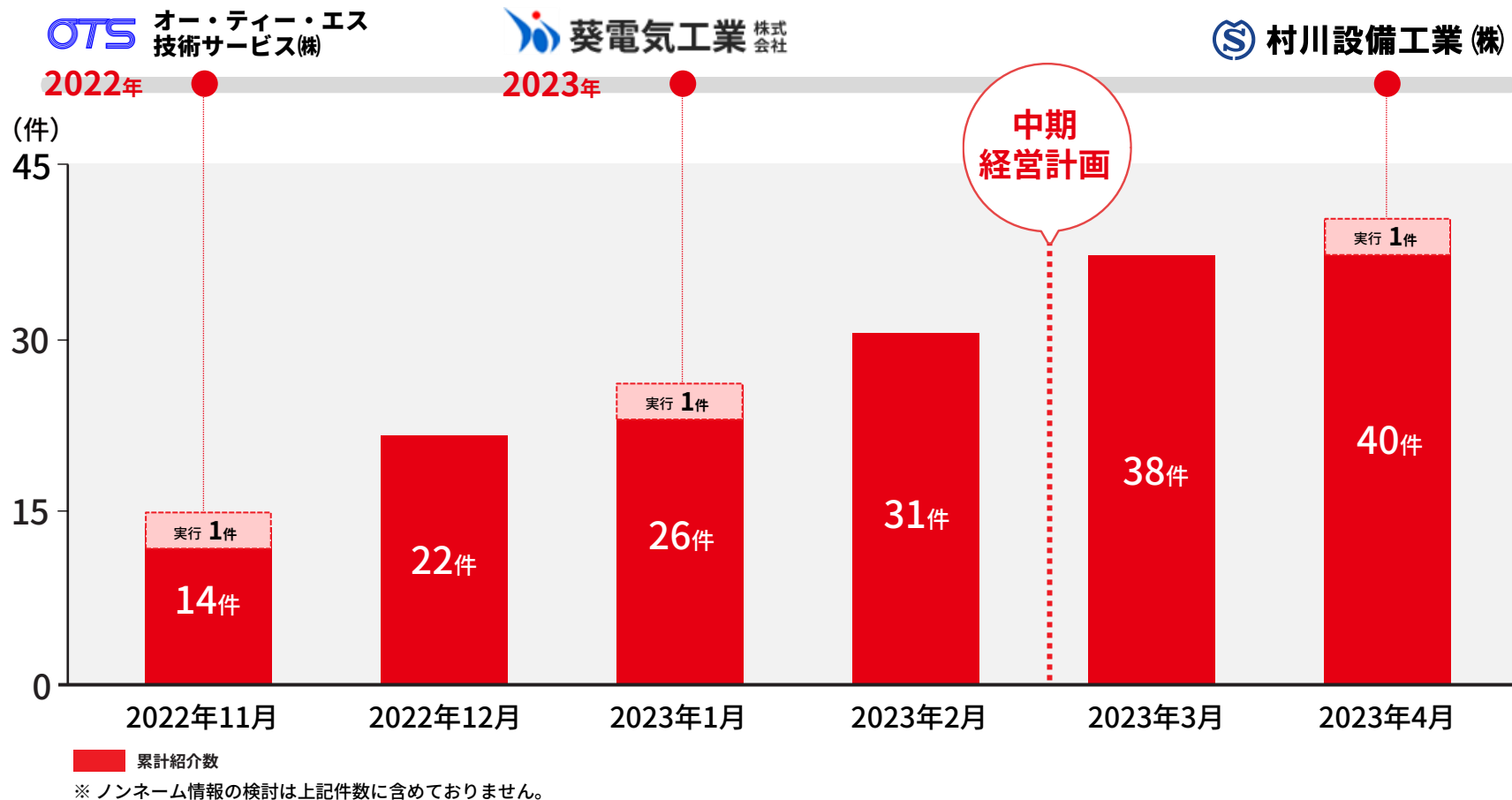
当社の強みや
今後の方針について
取材いただきました。

全社



戦略的なM&A体制の構築

社内M&Aチームを組成し、オーガニック・インオーガニック両面での成長追及
着実な成約実績で仲介会社や金融機関からの紹介案件も継続的に獲得中

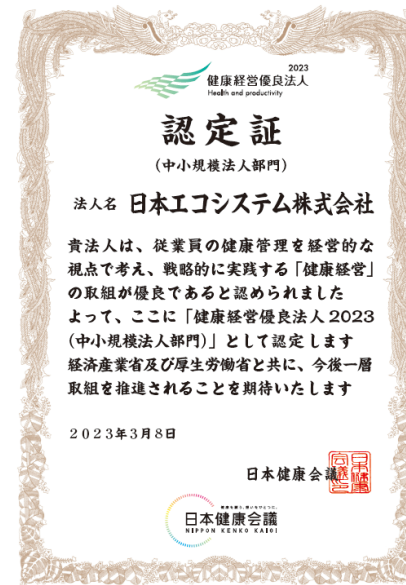


III サステナビリティおよびCSR

健康経営優良法人



「健康経営優良法人2023（中小規模法人部門）」に3年連続で認定
今後も従業員の健康維持と増進に向けた取り組みを継続



IV 役員紹介

トップメッセージ



社会・環境と共に発展できる 「エコシステム」の実現へ

社会への貢献を第一と考え、
多様化する社会のニーズに応え続けるために、
より一層の企業価値向上に努め、
社会に必要とされ続ける
「300年企業」の創造を目指してまいります。

代表取締役社長

本島 稔

役員紹介



松島 穰
代表取締役社長



中村 成一
専務取締役
環境グループ担当



奥村 泰典
常務取締役
生活産業グループ担当



内田 敦
取締役
交通インフラグループ担当



稲生 篤彦
取締役 管理本部担当



杉戸 俊之
取締役



田野 好彦
取締役



伊東 史子
取締役



亀山 直人
取締役(常勤監査等委員)



加納 正二
取締役(監査等委員)



南 善隆
取締役(監査等委員)

※取締役杉戸俊之・取締役田野好彦及び取締役伊東史子は、社外取締役であります。監査等委員である取締役加納正二及び南善隆は、社外取締役であります。

V 会社概要

会社概要



会社概要 (2023年4月30日現在)

会社名	日本エコシステム株式会社	資本金	761,766,638円
会社所在地	愛知県一宮市本町 二丁目2番11号 JES一宮ビル	決算期	9月
代表者	代表取締役社長 松島 穰	発行済株式数	2,696,600株
事業内容	公共サービス事業 環境事業 交通インフラ事業	従業員数	連結479名(平均臨時雇用人員含む)
		監査法人	EY新日本有限責任監査法人
		上場市場	東京証券取引所スタンダード市場 名古屋証券取引所メイン市場

JESグループ (2023年4月30日現在)

日本ベンダーネット株式会社

本社所在地：東京都千代田区飯田橋4丁目8番3号
<http://vendernet.jp>

サテライト一宮株式会社

本社所在地：愛知県一宮市羽衣2丁目5-100
<https://st138.jp>

中央警備保障株式会社

本社所在地：岐阜県岐阜市今沢町12番地
<http://www.chuokeibi.jp>

JESテイコク株式会社

本社所在地：愛知県名古屋市中区錦2丁目9番14号

株式会社ワンズライフ

本社所在地：岐阜県羽島市江吉良町江中六丁目21番地
<http://www.ones-life.com>

有限会社ぼくちオジカオート

本社所在地：愛知県北名古屋市法成寺法師堂128

株式会社日新ブリッジエンジニアリング

本社所在地：岐阜県岐阜市萱場南1丁目14番15号
<https://nsb-eng.co.jp/>

オー・ティー・エス技術サービス株式会社

本社所在地：東京都杉並区阿佐谷南三丁目50番5号

葵電気工業株式会社

本社所在地：愛知県名古屋市長区豊が丘412番地の3
<https://www.aoi-dk.jp>

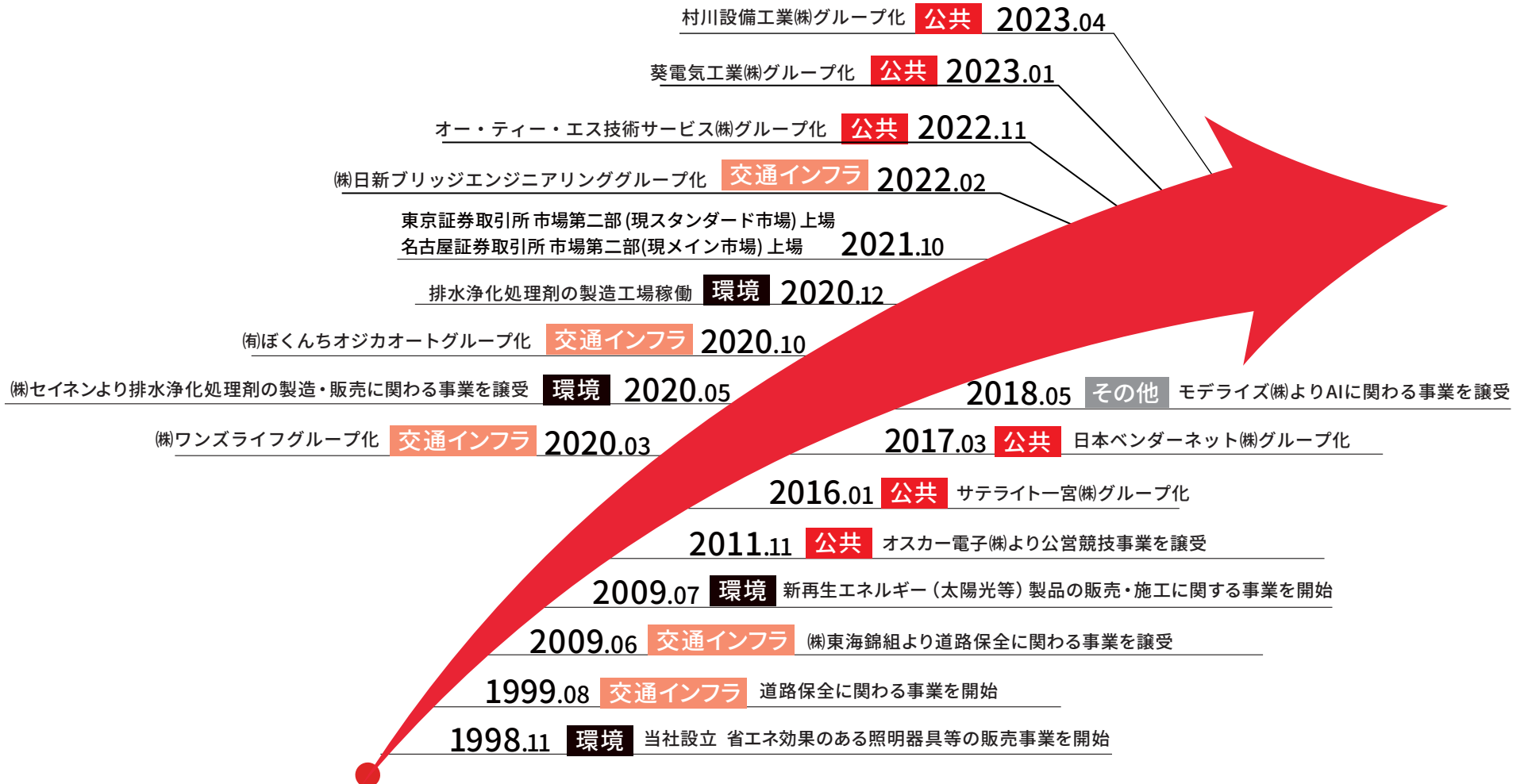
村川設備工業株式会社

本社所在地：愛知県一宮市大志1丁目6番19号

会社概要



沿革 (2023年4月30日現在)



社是・経営理念



「社是」

未^み晃^{こう}道^{どう}

未来の地球を照らし、
輝き続ける事業を創造します。

「経営理念」

事業を通じ、
物心両面の幸福を追求すると同時に、
かけがえのない地球環境の
維持にも貢献します。

存在意義・目指す姿



社会の課題を解決し、 必要とされ続ける300年企業を創造

時代時代において外部環境の変化に柔軟に適応し、
社会が求めるサービスを提供する「300年企業」に

事業概要



事業区分及び主な事業の内容

当社グループは**計11社**で構成されており、社会インフラサービス企業として公共サービス事業、環境事業、交通インフラ事業に取り組んでいます

区分	主な事業の内容	主な関係会社
公共サービス事業	<ul style="list-style-type: none"> 公営競技場における、トータリゼータシステムの設計・製造・販売・機器設置及び一般事業者も含めた空調衛生設備等のファシリティに関わる事業 公営競技場における、トータリゼータシステムのメンテナンスに関わる事業、AIによる競輪予想サービス・警備・清掃等の運営業務に関わる事業 	当社 日本ベンダーネット(株) サテライト一宮(株) 中央警備保障(株) オー・ティー・エス 技術サービス(株) 葵電気工業(株) 村川設備工業(株)
環境事業	<ul style="list-style-type: none"> 排水浄化効率を促進させる製剤の研究開発、製造及び販売業務に関わる事業 水循環システム及び処理設備の設計・施工・メンテナンスに関わる事業 産業用太陽光の再生可能エネルギー発電設備の設計、施工、保守等業務に関わる事業 	当社 JESテイコク(株)
交通インフラ事業	<ul style="list-style-type: none"> 高速道路を中心とした構造物点検、電気通信設備・ETC保守、交通管制業務、道路照明灯保守等の道路エンジニアリングに関わる事業 高速道路を中心とした維持修繕工事、事故・災害復旧工事、雪氷対策作業、土木工事、交通規制等の道路メンテナンスに関わる事業 	当社 (株)ワンズライフ (有)ぼくちオジカオート (株)日新ブリッジ エンジニアリング
その他	<ul style="list-style-type: none"> システム保守業務、AI技術を活用したICTソリューションの提供に関わる事業 不動産の仲介、売買、賃貸等不動産に関わる事業 	当社

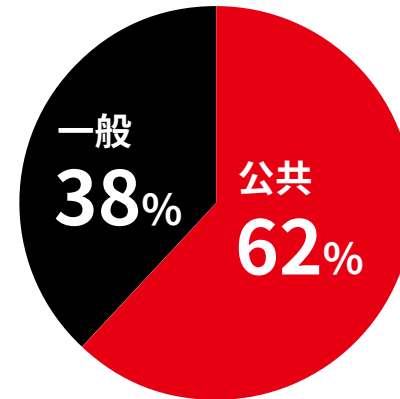
事業概要



当社事業の特徴

BtoP (Public)
を中心とした
安定性の高い領域で
事業展開

2022年9月
 売上構成比



当社グループは参入障壁の高い3セグメントより構成

公共サービス事業

自治体が主催する公営競技における運営サービスを展開。川上のシステム設計から川下の施設運営までを一気通貫で提供する事により差別化。

環境事業

再生可能エネルギー事業に加え、排水処理事業・水循環事業を開始。長期成長分野の事業として育成中。

交通インフラ事業

主に自治体・中部エリア高速道路会社からの委託を受けて構造物点検や電気通信設備・ETC等の保守サービスを展開。高度な安全技術で高付加価値の高い収益性を実現。

事業概要



当社グループとセグメント

エンジニアリング・メンテナンスを強みに公共施設・環境関連向け「社会インフラサービス企業」として事業展開

得意先 (Public : 地方公共団体・高速道路運営事業者等)



【電気・空調衛生分野】

空調衛生設備工事、電気工事
給排水衛生設備工事



【公営競技】

公営競技施設の保守・運営等



【排水浄化処理／水循環事業】

水循環システム及び処理設備の
設計・施工・メンテナンス
排水浄化効率促進剤の製造・販売

【再生可能エネルギー】

太陽光発電設備の
販売・施工等

公共 サービス

人財・機動力
エンジニアリング
メンテナンス

環境

交通 インフラ



【エンジニアリング】










高速道路付帯設備(ETC等)の
維持・管理、高速道路の橋梁点検、
LED照明設備の設置等

【メンテナンス】

事故処理・雪氷対策等

各事業分野のポジショニングと方向性

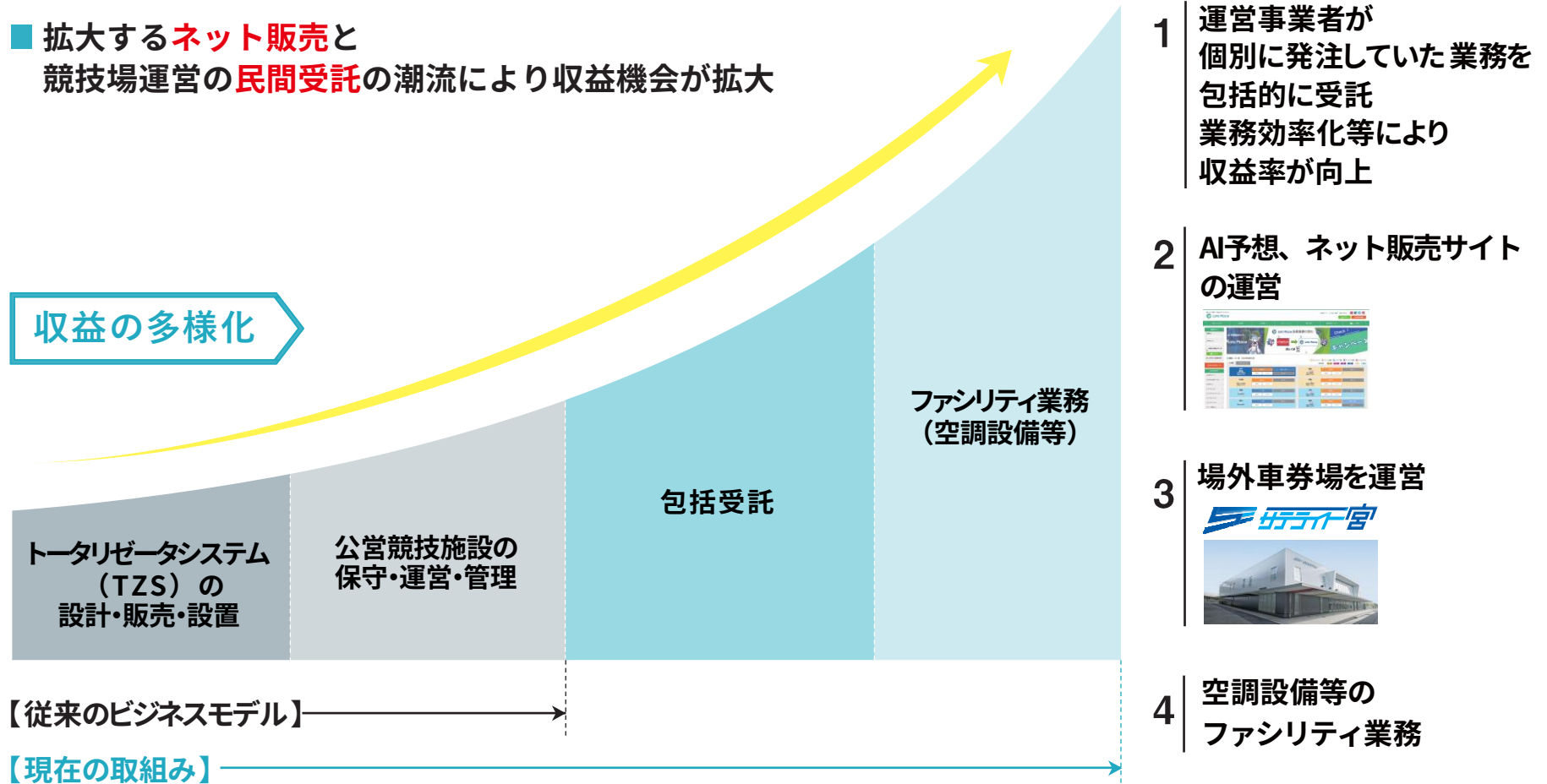


	公共サービス	環境	交通インフラ	その他
注力分野 積極的に成長投資を実施し、 事業拡大を狙う分野	 電気・空調 衛生設備	 産業用太陽光 発電設備  アクアリウム	 エンジニアリング サービス	—
深化分野 効率化を図り、 収益性を高める分野	 公営競技	—	 メンテナンス サービス	 不動産
長期成長分野 長期的な成長を目指し、研究 開発の実施や、新しいビジネス モデルの開拓を行う分野	—	 水循環システム	—	 AI・ICT ソリューション

公共サービス事業

ビジネスモデル

- 公営競技運営業務を**一気通貫**で提供する事により差別化
- 拡大する**ネット販売**と
競技場運営の**民間受託**の潮流により収益機会が拡大



公共サービス事業



事業の方向性

- 電気・空調衛生設備は、技術者の増員により事業拡大
- 公営競技は、施設全体運営の包括案件やネット投票を拡大させ高収益に

注力分野

電気・空調衛生設備

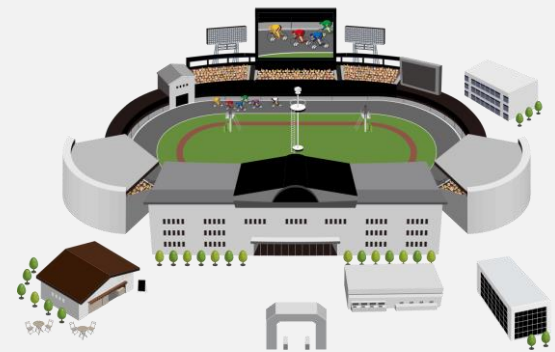
- 教育と採用を強化により技術者を増員し、豊富な需要をカバー
- 利益率の高い案件を優先的に受注し、収益改善も狙う
- M&Aによる地域拡大も視野に



深化分野

公営競技

- 強みのある公営競技施設全体の運営の包括的な受託案件を拡大
- 急拡大するネット投票やAI予想も強化



環境事業



ビジネスモデル

- 2020年より排水浄化処理事業を開始、長期成長分野の事業として育成中
- 産業用太陽光発電設備の施工及び売電が現在の主力事業



環境事業



事業の方向性

- 太陽光発電設備は、リソースを確保し成長に注力
- アクアリウムは、業容を拡大して効率的に案件の獲得を狙う

注力分野

産業用太陽光発電設備

- 需要が増加する工場の自家消費向け案件を着実に受注
- 技術者の獲得と教育による増員
- 営業力・提案力・実行力の強化



注力分野

アクアリウム(水族館等)

- 水槽搬入の下請けから企画運営を含めた包括業務へ業容の拡大を狙う
- 施設全体の設計施工の受注により空調や給排水設備の提供も視野



交通インフラ事業



ビジネスモデル

- 高速道路上のエンジニアリング & メンテナンスに特化
- 高度な安全技術で高付加価値の高い収益性を実現

- 図面作成から点検保守、施工管理まで多種多様な交通インフラ業務を一貫してサポート



地方公共団体
高速道路会社

委託

JESグループ
JESG



交通インフラ事業



事業の方向性

- エンジニアリングサービスの拡大とメンテナンスサービスの高収益化
- M&Aを活用して西日本、東日本へのエリア拡大も視野

注力分野

エンジニアリングサービス

- 技術者の獲得と教育により包括的な受注を拡大
- NEXCO中日本における新規案件獲得および営業方法の確立
- AI・IOT・5G等の次世代に向けた領域にも注力



深化分野

メンテナンスサービス

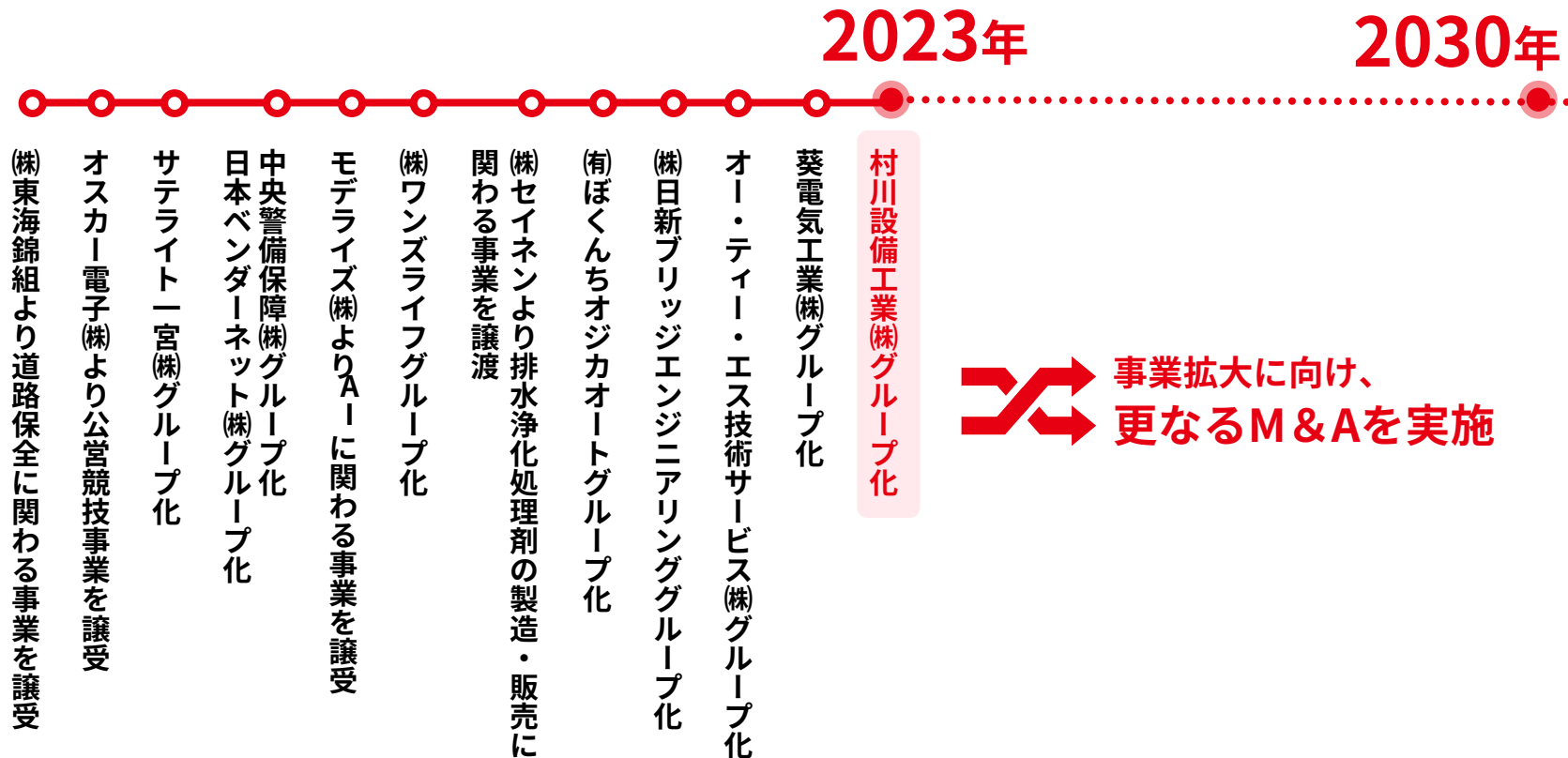
- 信頼度および質の高い成果/業績を維持し継続的に受注
- 外注の割合を減らし、高収益性を実現
- 技術者の獲得と教育に注力



M&Aの積極的な推進



専門性の高いエンジニアの獲得、事業ポートフォリオの拡大（TAMの拡大）など、事業成長に向け「これまでも・これからも」M&Aを積極的に推進いたします



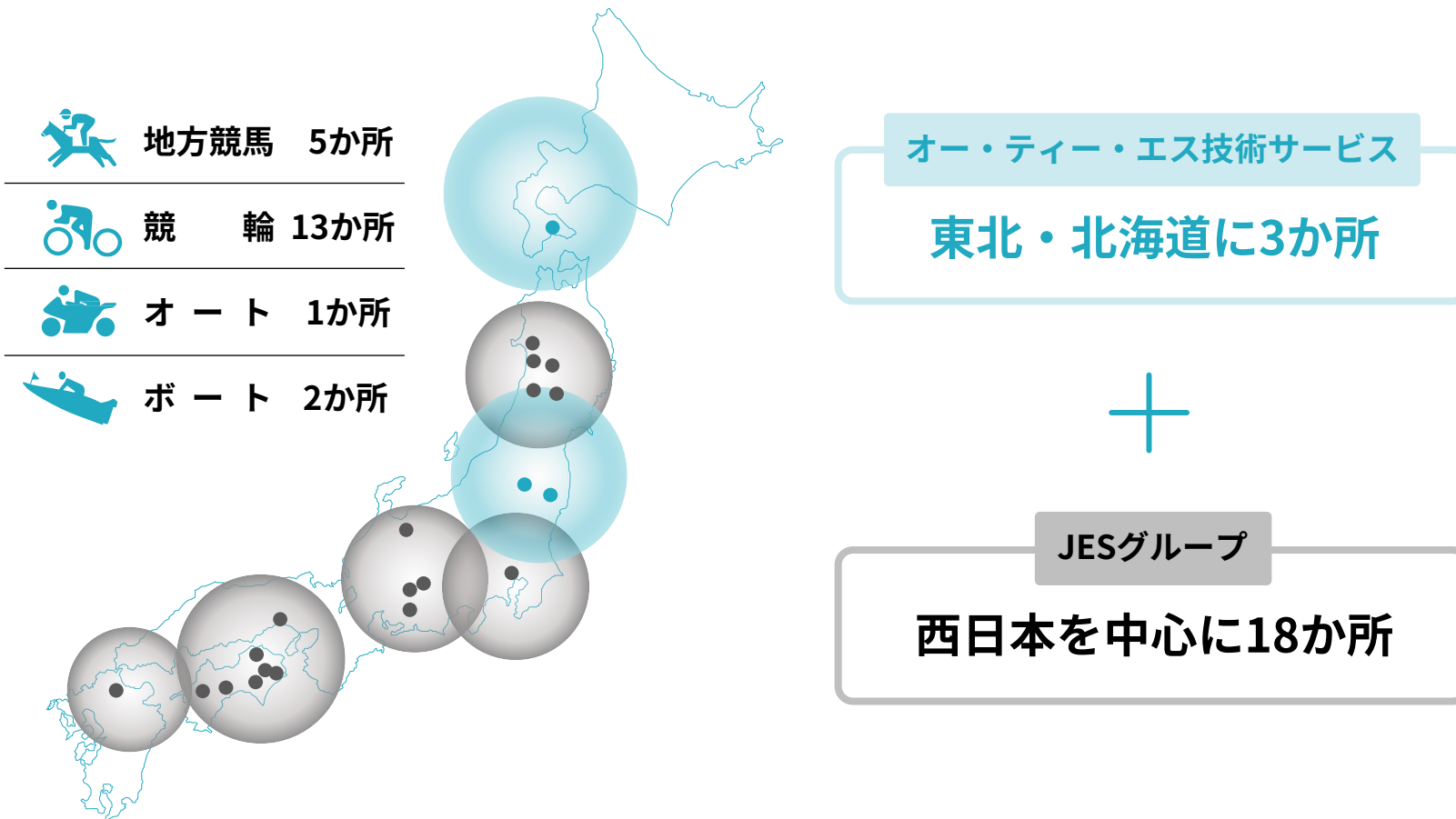
VI Appendix

過去トピック 公共サービス事業



M&Aによる業務エリアの拡張・拡大

オー・ティー・エス技術サービス株式会社をグループ化 (2022年11月)
既存のエリアに加え、東日本エリアの業務が拡張・拡大

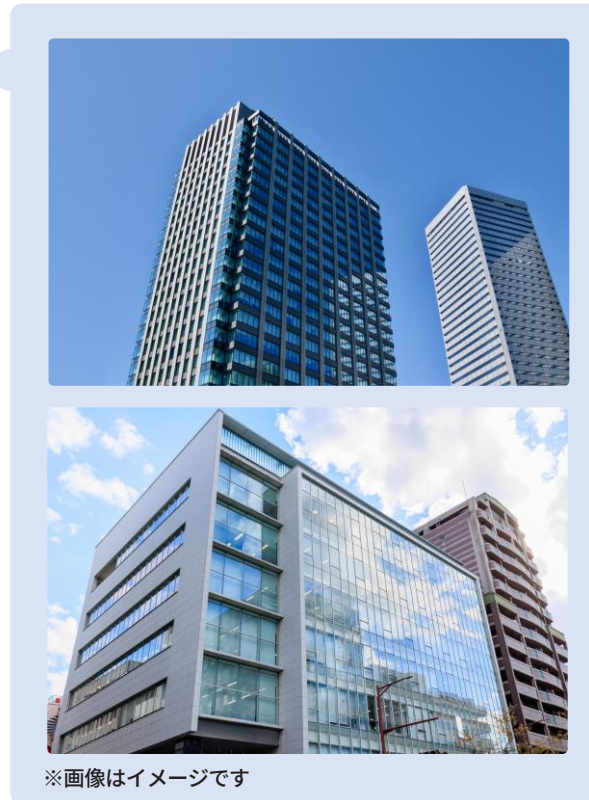


過去トピック 公共サービス事業



M&Aによるファシリティ領域の拡張・拡大

葵電気工業株式会社をグループ化 (2023年1月)
 空調設備工事等のサービス提供範囲の拡大といったシナジー効果を創出



過去トピック 環境事業

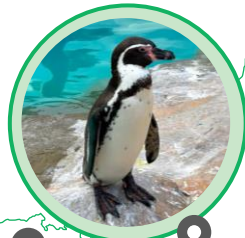


「水循環システム」の施工実績

新規

南知多ビーチランド

ペンギン水槽の老朽化に伴う
ろ過率の高い装置にリニューアル工事



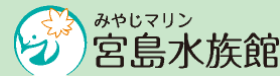
新規

オホーツク流氷館

オホーツク流氷館の
クリオネ水槽をリニューアル工事

🐟 施工実績を全国に拡大

新たに、北海道のオホーツク流氷館、愛知県南知多ビーチランドの施工を行いました。
当社の強みである、水を綺麗にするトータルエンジニアリングを活かし、環境に配慮した施工を推進してまいります。



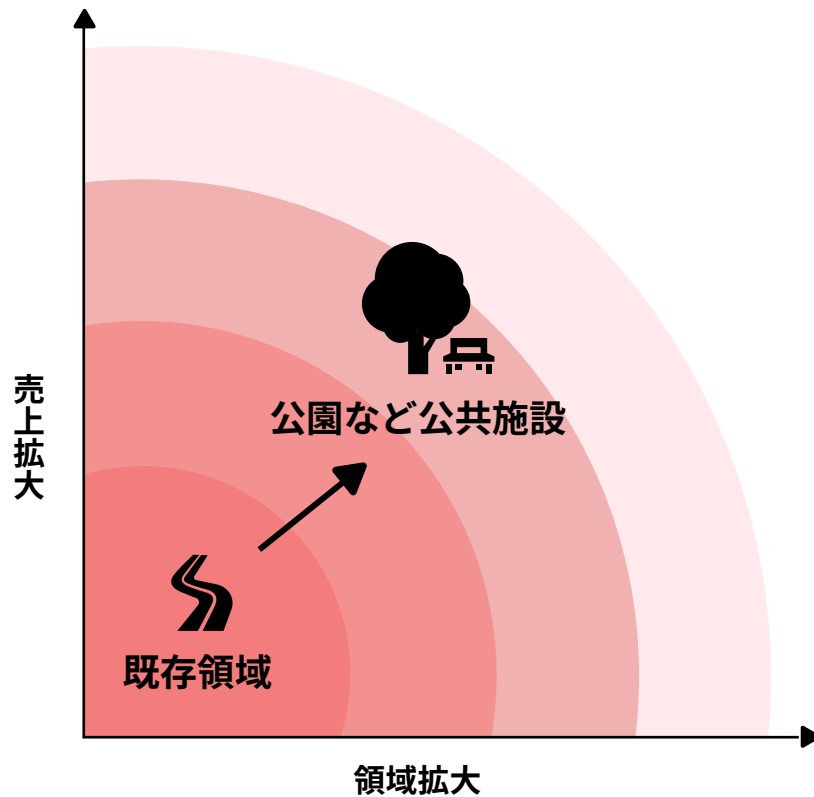
※本ページ中の各社のロゴ・マークは各社の登録商標または商標です

過去トピック 交通インフラ事業



LED関連工事の領域拡大

道路照明灯のLED更新工事や点検業務に加えて、公園など公共施設の照明灯にかかわる業務にも幅を拡張



工事案件

公園灯LED更新工事

道路照明灯点検業務

道路照明設置工事



本資料における注意事項




本資料に記載されている、将来の業績に関する計画、見通し、戦略などは現在入手可能な情報に基づき判断したものであり、リスクや不確実性を含んでおります。

実際の業績は、様々な重要な要素により、大きく異なる結果となりうることをご承知おき下さい。

本資料及び当社IRに関するお問合せ先

管理本部IR担当

 0586-64-9249

 ir.jesg@jp-eco.co.jp

